

## 地域と小学校の連携拠点

広島版「学びの変革」アクション・プランに基づき、「課題発見・解決学習」の推進に取り組んでいる荘野小学校が、地域素材を活かした「課題発見・解決学習」の単元開発に取り組む際に、荘野公民館が、学校と地域の連携拠点となっています。

公民館は普段から、地域、団体の行事等には可能な限り関わりを持ち、地域の様々な団体とつながってきたため、公民館が小学校と地域とのパイプ役となっています。

実施日：平成29年度通年

参加者：竹原市立荘野小学校全学年児童

荘野公民館の教室、同好会受講生、諸団体

【キーワード】  
地域・郷土の  
理解



## つどう

公民館では教室、同好会の受講生のほか諸団体の方も多く集まります。

また、荘野小学校の授業を荘野公民館を会場として行う取組もしているため、平日昼間でも子どもたちがいます。

公民館は、誰もが利用しやすいという雰囲気が作られています。

## まなぶ

荘野小学校の総合的な学習の時間等で、地域素材を活かした授業を行っています。この授業に地域の方々が関わることで、子供たちの深い学びやふるさとを愛する心の育成につながっています。また、地域の方々にとっても、子供たちとの交流の機会となっています。



## むすぶ

公民館は普段から、地域、団体の行事等には可能な限り関わりを持ち、地域の様々な団体とつながっているため、公民館が小学校と地域とのパイプ役となることができています。学校の授業に地域が関わり、地域の行事に子供たちが授業で学んだ成果を生かす、協働の関係を公民館が拠点となって支えています。